

令和元年度アドバイザー会議のふりかえり

令和元年度はアドバイザー会議を2回開催する予定だったが、コロナ禍のため、第2回目は開催することができなかった。以下に令和元年度第1回アドバイザー会議の概要を示す。

第1回アイランドシティはばたき公園管理・運営等アドバイザー会議

日時： 令和元年8月30日（金） 13時00分 ～ 17時15分

会場： 福岡市役所本庁9階 第2特別会議室

参加者： [アドバイザー] 5名

- ・桑江 朝比呂 （港湾空港技術研究所 沿岸環境研究グループ長）
- ・岡田 知也 （国土交通省 国土技術政策総合研究所 海洋環境・危機管理研究室長）
- ・服部 卓郎 （NPO 法人 ふくおか湿地保全研究会 理事長）
- ・中島 淳 （福岡県 保健環境研究所 研究員）
- ・林 博徳 （九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 助教） 欠席

[事務局] 8名

- ・福岡市港湾空港局アイランドシティ事業部 （白土課長、小山係長、清水、湖城）
- ・一般財団法人九州環境管理協会 （宇野、山本、岡部、宇佐美）

議事次第

- (1) アイランドシティ整備事業について
- (2) これまでに決定された上位プラン
- (3) アイランドシティはばたき公園における取組み
- (4) アドバイザー会議の役割

————— 現地視察 —————

- (5) 湿地の順応的管理計画の検討
 - 1) 包括的目標の設定
 - 2) 具体的な行動計画・事業実施方針
 - a 場の再生に向けた行動計画・事業実施方針
 - b 包括的目標を達成するための具体的な計画・方針

主な意見

- ・今後湿地を管理する計画については市民の意見を取り入れながら共働することが重要。
- ・渡り鳥の休息場としての保全とともに、多くの生物が生息する場を目指すことも環境学習などにおいてとても重要。
- ・植生の遷移をコントロールし、適正な生息環境の維持が重要。

令和元年度のワークショップの内容と成果

令和元年度のワークショップは、はばたき公園の事業を広く周知するとともに、順応的管理計画に対する市民意見の反映、及び将来的な管理運営に向けた人材の発掘を目的に、「知る」「見る」「語る」のテーマのもと、全3回の開催を計画した。

下記に令和元年度に実施した内容と市民意見を示す。

1. ワークショップの実施内容

第1回 令和元年12月8日 参加人数 20名

目標 【知る】はばたき公園の意義と魅力を知ってもらう

《市からの説明》

- ・ はばたき公園の計画
- ・ 公園をとりまく自然と位置づけ
- ・ 公園に飛来している鳥たち など

《グループディスカッションのテーマ》

- ・ はばたき公園でやってみたいこと。
- ・ はばたき公園はどんな公園になるのか知りたい。
- ・ 感想

など



第2回 令和2年2月1日 参加人数 33名

目標 【見る】はばたき公園の生きものに触れ、自然を身近に感じてもらう

《現地見学会》

- ・ アドバイザーの服部さんや中島さんも出席
- ・ 渡り鳥の観察や水中生物の解説などを実施

《グループディスカッションのテーマ》

- ・ 現地を見て、率直にやってみたいことや知りたくなったこと。
- ・ 感想

など



第3回 令和2年3月1日 感染症拡大のため中止

目標 【語る】はばたき公園湿地の利用の仕方考えることによって、ワークショップにまた参加したいと思ってもらう

2. 令和元年度ワークショップの成果

2-1) はばたき公園の周知

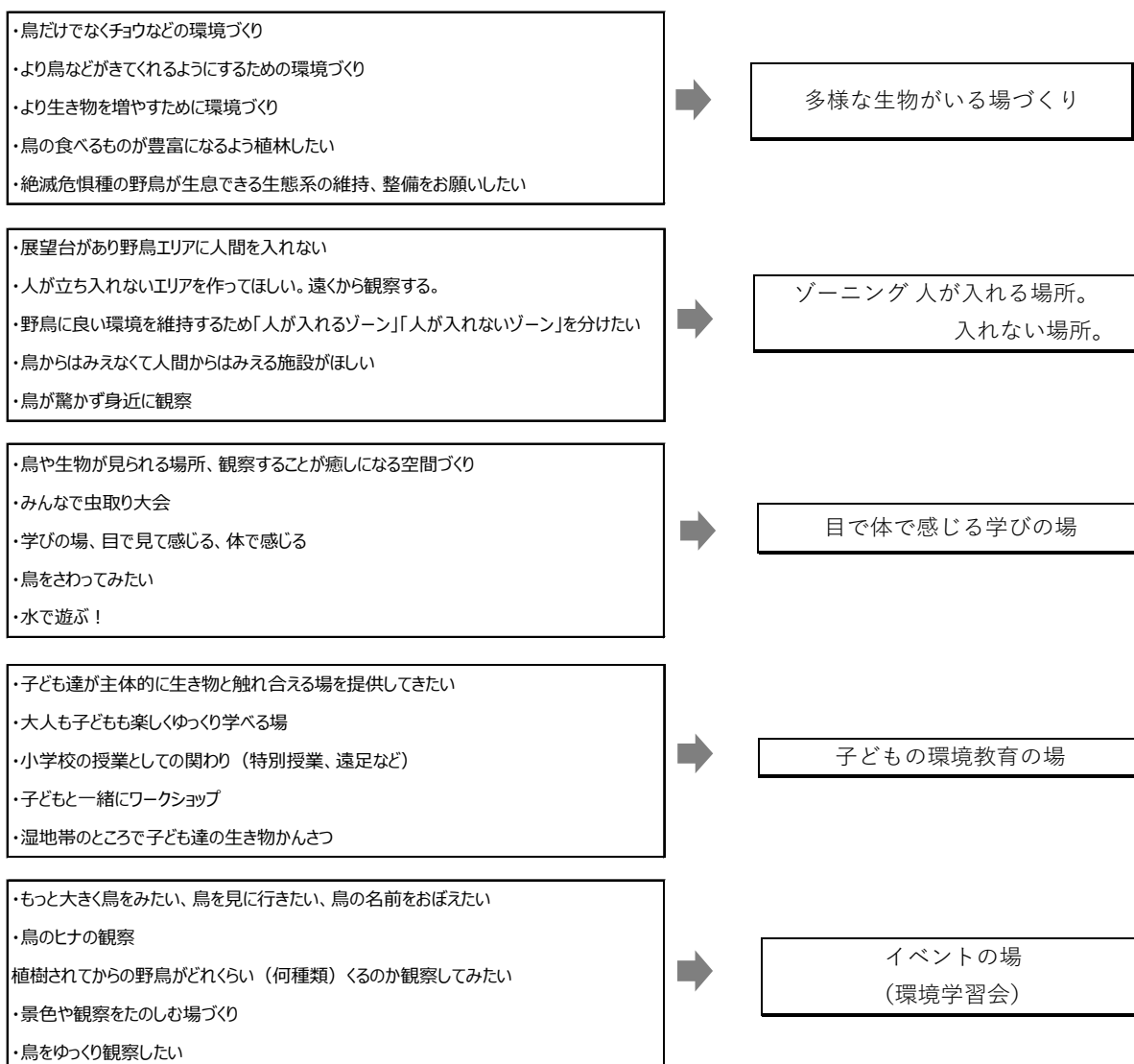
アンケート（参考資料2-4）より「野鳥について興味を持てる内容だった。」「コンセプトが理解できた。順応的管理を初めて知った。」といった意見など、満足と回答した参加者が過半数であり、「知ってもらおう」の目標は達成された。

ただし、少数ではあるが「公園の詳細がわからない。具体的なことを提供すべき」とやや不満に感じている参加者もあり、より丁寧な公園事業への説明が必要である。

2-2) 順応的管理計画への反映

ワークショップで出された意見のうち、順応的管理計画の包括的目標（案）である「人と自然との共生を象徴する空間づくりを実現する。」を踏まえ、湿地エリアにおける整備や管理について具体的な行動計画や目標達成基準に展開できる意見について、集約し反映した。

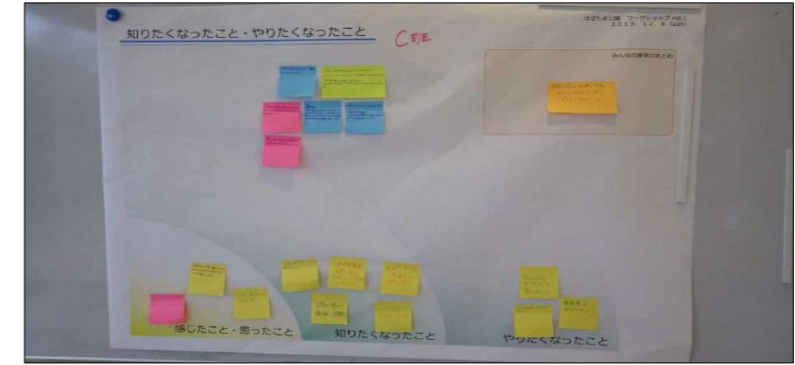
《集約し反映した意見》



2-3) サポートチーム（仮称）結成に向けた人材の発掘

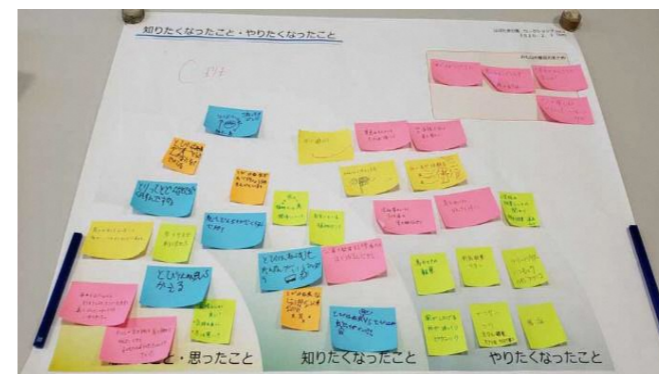
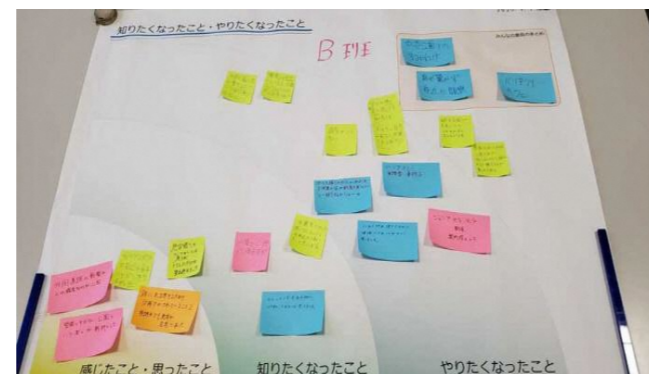
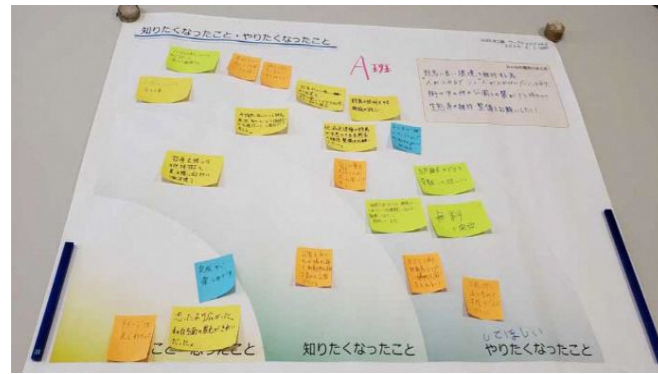
令和元年度のワークショップ第3回目が感染症拡大の影響により中止となったこともあり、人材の発掘には至っていない。しかし、前向きで活発な意見をしていた参加者もいた。今後のワークショップでは参加者が「将来、自分たちが望む公園の姿を想像し、その実現のためにはどんな行動が必要か」を検討し、その中ででた現地での具体的な行動に実際に取り組んでみる体験などを通して、最終目標である「自分たちが管理する」へ徐々に展開していく。

【R1.12.8開催】 市民意見



	【感想】	【知りたくなったこと】	【やりたくなったこと】	【してほしいこと】		
A班	<ul style="list-style-type: none"> •いろいろな取り組みを行っていることを知った。 •たくさん生きものが生息していることを知り驚いた。 •まちづくりに関してメインに考えていたが鳥や生き物へのフォーカスも大切。 •子ども達も命の大切さを学べる。 	<ul style="list-style-type: none"> •具体的な取り組みの内容 •同じような順応的管理の事例があるか •人と生き物が共存できる方法 •鳥たちがより多く集まるようにはばたき公園以外の連携も必要ではないか •様々な鳥種に対応できる人工環境の設定は難しいのか •敏感な鳥にストレスをかけず幼い子ども達の団体が見学する策はないのか •車やバスの音・排気ガスは鳥たちに影響しない。 •対岸の福工大グラウンドの照明は鳥の環境に良いのか。 •全体の土地の中で池はどのくらいあるのか、湿地のみか。 •野鳥見学場所はあるか。 •池の周りにヨシ等の植物を植えるのか。 •野鳥ラウンジカフェの内容、結果はどうなった。 •維持管理する方法に費用がいると思うけど。 •入園料はとるのか。 •カラス対策は。 •IC周辺の海の生物の生息環境。 •アクロス福岡の緑をつくった方の話を聞きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> •より鳥などがきてくれるようにするための環境づくり •鳥だけでなくチョウなどの環境づくり •鳥や生物が見られる場所、観察することが癒しになる空間づくり •超巨大なビオトープを目指せば •大人も子どもも楽しくゆっくり学べる場 •子ども達が主体的に生き物と触れ合える場を提供してほしい •定期的な見学会をやる •NPOの作り方 <ul style="list-style-type: none"> ①今ある団体を広げる、 ②ランドスケープデザイナーを中心に+住民+市民、 ③ビジネスモデルの構築（ボランティアではなく報酬、雇用を地域で生み出す） •藤はかまを植えたい •人間が余計な関わりをしない 	<ul style="list-style-type: none"> •野鳥ファーストゾーン（立入禁止エリア）、交流ゾーンをつかってほしい 		
	B班	<ul style="list-style-type: none"> •野鳥についての関心が高まった •色々な人がIC内に入ってくると交通状況や治安が心配 	<ul style="list-style-type: none"> •ジェットスキーは野鳥に影響しないか •鳥の説明、図 •鳥のいえと餌をりしたい •入場料いる？ •IC住民以外の方も来てもらうような公園を目指しているのか（駐車場問題） •中央公園からはばたき公園への遊歩道はどうなっているか 	<ul style="list-style-type: none"> •鳥のスケッチ大会、子ども向きイベント •スマホでの撮影会 •鳥の食べるものが豊富になるよう植林したい •自然のものと人工のものが共存する観察しやすい施設 •鳥と空の散歩 •鳥の気持ちになってみたい •鳥をさわってみたい •鳥とはなしてみたい •虫をとりたい •あまり人の手を加えない自然に任せる公園が望ましい •大阪万博記念公園のような公園をつくりたい •星の観察会 	<ul style="list-style-type: none"> •鳥とふれあうスペースが欲しい •双眼鏡の貸し出しがある •夏歩くのに涼しい公園、日陰のある遊歩道 •身障者の方も楽しめるか（車椅子、階段、歩きやすさ） •老人に優しい公園、ベンチの設置 •ガラス貼りの建物で双眼鏡がありコーヒーを飲めたらいい •風が強い日が多いので建物内で温かい物が飲める場所が欲しい •公園内に住民が集う施設が欲しい 	
		C班	<ul style="list-style-type: none"> •水の近くで鳥が飛ぶところや水の波紋がみられると心が落ち着きそう •水質が維持できるか心配 	<ul style="list-style-type: none"> •公園の生物の情報を知りたい •野鳥の数の増減（長期） •鳥にGPSをつけてどこを飛んでいるか知りたい •落ちている鳥の羽を顕微鏡でみてみたい •水の透明度やきれいさで野鳥の数が変わるのか知りたい •渡り鳥の種類を自由研究でまとめてみたい •中央公園では鳥は何を食べているのか •カラスはなぜあんなに強いのか •香椎海岸が夏になるとなぜきれいなのか？ •池を緑にしすぎるとプランクトンが増えて魚が呼吸できなくなり鳥が死ぬから、プランクトンの量を管理できるような建物をつくりたい 	<ul style="list-style-type: none"> •鳥からはみえなくて人間からはみえる施設がほしい •中央公園の成功と失敗の部分をばたき公園に生かしていけたらいい •はばたき公園でホテルがみたい 	<ul style="list-style-type: none"> •生態系をくずすようなアメリカザリガニなどが増えないようにしてほしい •鳥が飛び形をとれるように望遠カメラ貸出ができるといい •築山の上に双眼鏡を設置してほしい •湿地のなかに水中カメラを設置して建物でみられるようにする •アマモなどを植えることによって鳥が増えるなら、それをしたほうが良い •コミュニティガーデンをつくらしてほしい •循環型を目指しましょう

【R2.2.1開催 市民意見】



	【感想】	【知りたくなかったこと】	【やりたくなかったこと】	【してほしいこと】
A班	<ul style="list-style-type: none"> イメージは良くわかった 思ったより広かった。和自方面の景色がきれいだった。 完成が楽しみです 		<ul style="list-style-type: none"> 展望台があり野鳥エリアに人間を入れない 植樹されてからの野鳥がどれくらい(何種類)くるのか観察してみたい。期待しています。 周りの景色をうまく取り入れた公園づくりを。 子どもと一緒にワークショップ(例:鳥の先生からの勉強会) 絶滅危惧種の野鳥が息できる生態系の維持、整備をお願いしたい。 今現在住んでいる野鳥、昆虫等をどう維持するかを検討の上、公園設計を考える。 自然をこわさないように手を加えない 人が立ち入れないエリアを作ってほしい。遠くから観察する。 自然のルールを守ること 野鳥に良い環境を維持するため「人が入れるゾーン」「人が入れないゾーン」を分け、街の中の他の公園との繋がりをもちつつ生態系の維持・整備をお願いしたい。 公園とあいたか橋の海(御島神社周辺)を含めた公園づくりを 	<ul style="list-style-type: none"> 自然観察のプロを常駐してほしい。 野鳥の説明をする施設がほしい。 散策道路には街路樹を・・・夏、日陰になるように(並木路) 散策するのに楽しい遊歩道を(中央公園からはばた公園までを含めて検討) 公園へ行く道を含めて木陰をつくってほしい 無料で開放 藤はかまを植えてアサギマダラを呼ぶ
B班	<ul style="list-style-type: none"> 整備しすぎない公園という考えが新鮮でした 既に鳥を寄せるための仕掛けがなされていることで、現時点でも見学が容易であった チョウゲンボウを間近に見ることができてよかった 想像以上に大きな公園であった。 今からどのような植物、木など植えるのか、楽しみである。 見学者への心づかいとは思うが、トイレだけは違和感をもった 	<ul style="list-style-type: none"> 外周道路の影響がどの程度なのか心配 水質をどうやって保全する? もっといろいろな生き物について知ってみたいと思いました。 生態系について(特にアイランドシティ周辺の)知りたいと思います。 自然と人間との共存について(人は虫が困る、鳥は虫が必要) 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具はいらない 学びの場、目で見て感じる、体で感じる 木がない自然公園など特徴のある場所にしたい。 中央公園と全く異なるユニークな「公園」にしたい 中央公園とのすみわけ 鳥が驚かず身近に観察 より生き物を増やすために環境づくりをしてみたいと思いました ジュニアボランティア制度。案内役として。 	<ul style="list-style-type: none"> ガラス張りのカフェがあれば子供達の姿や野鳥を見ながら一服できるかなあ。 バリアフリー(身障者、車椅子) 「環境」を幅広くとらえて、片隅にコミュニティガーデンをつくってほしい。
C班	<ul style="list-style-type: none"> 海がおだやかでキラキラしてそこに生息する鳥を観察できてとてもいやされた。 水辺の生き物を見て触れて観察できて、子どもたちがとてもたのしそうだった 見晴らしがよい。気持ち良い。冬は寒い? 鳥との距離が近い。海がいつもよりキレイに見える。 虫眼鏡があると良かった 植物→虫→鳥→種→植物。このくりかえし。これってすごい!! 	<ul style="list-style-type: none"> とびはね虫が食べる「きん」は何を食べているのか 鳥ってどんなところでくらすんですか 自生している植物のこと 公園を整備する時、鳥たちはどうなるんだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> 水で遊ぶ! みんなで虫取り大会 景色や観察をたのしむ場づくり 鳥をゆっくり観察したい 湿地帯のところで子ども達の生き物かんさつ 鳥のヒナの観察 野鳥観察ツアー 小学校の授業としての関わり(特別授業、遠足など) 夜の自然体験会 風がしのげる所でゆっくりピクニック ザリガニつり、カブトムシ、クワガタつり、ホテル観賞 ツリーハウス、ハンモック、ハイジブランコ 宿泊 	
D班	<ul style="list-style-type: none"> 思ったより池ができていて驚いた 小さな生き物がたくさん 丘に登って上からの景色がきれい 海が近くに見えて気持ち良かった 	<ul style="list-style-type: none"> 夏は水がなくなったりしないのか。 周りの開発が進むことによる影響が気になる 虫の先祖を知りたい 	<ul style="list-style-type: none"> もっと大きく鳥をみたい、鳥を見に行きたい、鳥の名前をおぼえたい 池の近くに建物をつくりマジックミラーを設置してみたい もっと生物のことを知りたい、もっと生き物を増やしたい どこから生き物が来たのか知りたい、虫をつかまえて なんで小さな生き物がたくさんいるのか知りたい、草型の防水カメラを設置したい コーヒーを飲みながら鳥を見たい 築山の芝に寝っ転がりしたい 海岸にゴミがあったのできれいにしたい いろいろな鳥を見て鳥への興味もわいた。これからも鳥を大切にしていきたい。 水中の虫もいろいろな種類もいて、とてもいいと思った。 海の上に道路をつくり、水鳥をもっと近くでみたい 飛んでいる鳥を上から転がって見たい 他の生き物も見たい 	<ul style="list-style-type: none"> 双眼鏡をレンタルしてほしい 無料望遠鏡貸し出しがあつてほしい 鳥や生き物の写真付案内板が欲しい 池には観察するデッキがほしい はばた公園に来る鳥のガイドブックがほしい 鳥のことをよく知れるようなスタンプラリーがほしい 鳥をカメラでうつすと説明が出るようなカメラを貸し出ししてほしい スマホでQRコードで図鑑や鳥の説明をみたい 自動鳥追跡カメラがほしい おしゃれなガイダンスセンターになってほしい。